

社会調査実習 レポート

大阪人の大阪に対するイメージ

・大阪で活躍する人物や地名の認識度によって、大阪に対するイメージは変わるのか

3回生 小学校社会 小林広裕

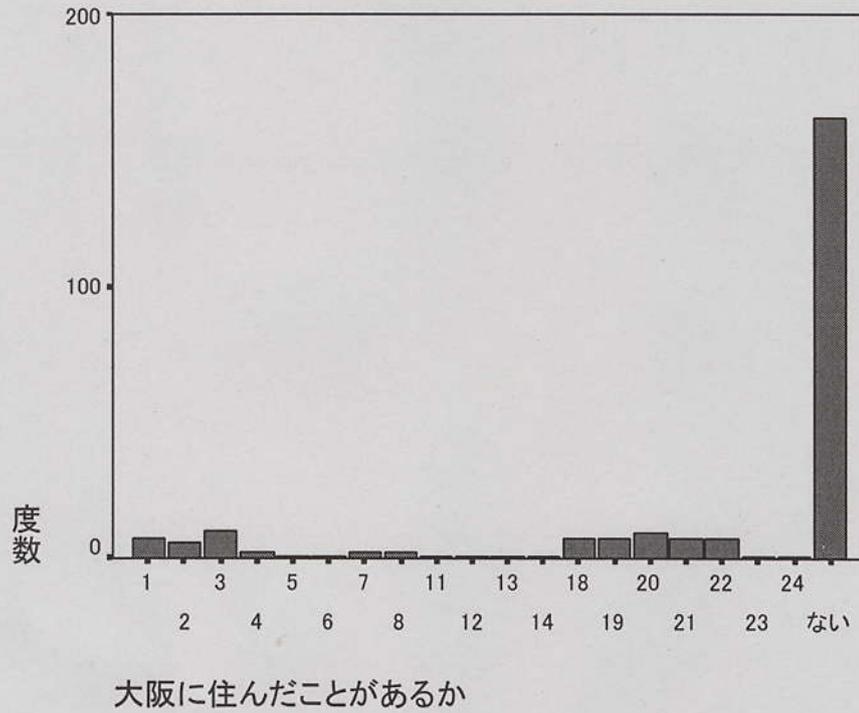
1、はじめに

私が担当したのは大阪の地名・人名に関する範囲です。その中で私が目に付けたのは人名に関する範囲です。人名を知っているか知らないかで大阪人に対するイメージも変わってくるのではないのかと考えたからです。ここでいう人名とは大阪を中心に活躍する有名人のことです。例えば、大阪人は納豆が嫌いだというイメージを持つきっかけが、テレビで芸能人が「大阪人は納豆が苦手だからな～」というような発言だったとすると、大阪人の納豆が苦手というイメージと人名とが関係してくるように思えると私は考えます。人名を知っているのか、知らないのかでその関係は変わってくるように思います。そして人名の認識度はその人が大阪に何年住んだか、もしくは住んでないかで変わってくると思います。なので、まず、大阪に住んだことがあるかという質問と大阪を中心に活躍する有名人を知っているかという質問を比べ、どのように関係しているかを調べていこうと思います。

2、大阪に何年住んだことがあるか

まず大阪に何年住んだことがあるのか分かりやすく棒グラフにしてみました。

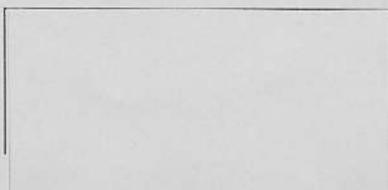
グラフ1 大阪に何年住んだことがあるか

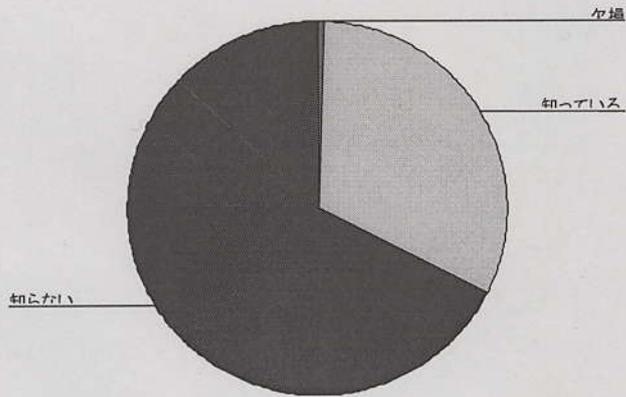


この図をみてわかることは今回の調査では大阪にすんだことが無いと答えたひとが圧倒的に多かったです。これをもとにいろいろと考えていきたいと思います。

3、人名の認識度

人名の認識度として浜村淳、角淳一、小薮千豊の三人をピックアップしてみました。それは後で記す大阪に何年住んだことがあるかという質問と人名の認識度の二つの質問をクロス集計したときに特徴がでた三人だからです。まず順に浜村淳についての認識度、角淳一についての認識度、小薮千豊についての認識度についての円グラフが下のようになります。

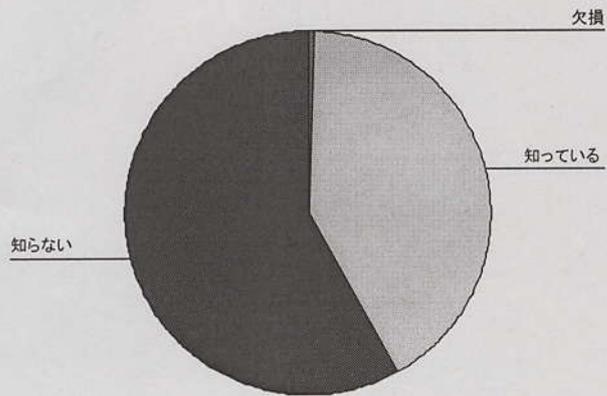




浜村淳について

知ってる・・・32.3%

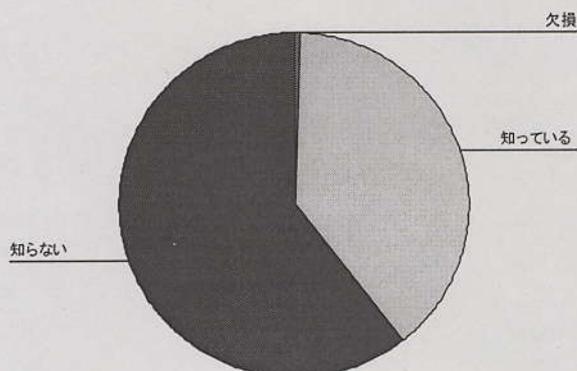
知らない・・・67.7%



角淳一について

知ってる・・・41.7%

知らない・・・58.3%



小薮千豊について

知ってる・・・39.1%

知らない・・・60.9%

3、クロス集計からわかること

この二つの質問を一つ一つクロス集計していくと、浜村淳、角淳一、小薮千豊の三人に特徴がみられました。まず浜村淳をみてみると、大阪に住んだことがない人において、浜村淳を知っている人に対して知らない人は25%も多くいました。また住んだ年数が長い人ほど浜村淳を知っている割合が知らない人の割合よりも多少ですが大きかったです。浜村淳という人物は関西地方を中心に活動し、「ありがとう浜村淳」というラジオ番組の司会を関西地方の朝にながしており、大阪になじみの深い人物です。なので、大阪に住んだことの無い人にはみたことも聞いたことも無いだろうし、顔も思い浮かぶことは少ないと思います。それがこの結果につながっているのではないのかと思います。

次に角淳一を見てみると、大阪に住んだことがない人において角淳一を知らない人の割合は知っている人の割合に対して約2倍もの割合がありました。「ちちんぷいぷい」などに代表されるように大阪では有名な番組を持っている。やはり大阪に住まないと分からないように思えました。大阪に住んだことのある人は知らないという割合は低く、知っている割合のほうが多かったです。

そして小薮千豊を見てみると、上の二つと同様に大阪に住んだことの無い人におい

て、知らない人の割合が知っている人の割合と比べて約3割も多かったです。やはり上の二つのように大阪に住むことで彼を知り、顔を認識していく人が存在しました。これは、大阪人はよく知っている新喜劇に出演しており、座長も務めていることから大阪に住むことで新喜劇をみて小薮千豊を知っていくよに思いました。

後の有名人であまり特徴が見られなかった理由として考えられることは、大阪を中心とし活躍しながらも、全国で有名となっているので大阪に住まなくても知っているという人が存在するのではないのかと思いました。

では、大阪人のイメージが有名人が影響していると考えれば、以上挙げた3人が大きな役割を果たしているのではないだろうか。

4、3人の認識度と大阪人に対するイメージとのクロス集計からわかること

まず浜村淳を知っているか知らないかの認識度と大阪人は初対面の人と話すのが苦手というイメージとをクロス集計してみると、浜村淳を知っている人の方が知らない人よりも、5～6割は初対面の人と話すのが苦手と考えている割合が約18パーセント高かったので、大阪人へのイメージに浜村淳が関わっていることが分かります。また、浜村淳を知っている人の方が、7～9割方大阪人は信号が青くなる前に渡ると考えている人の割合が7パーセントも高く、ほぼ全員と考えている人の割合は11パーセントも高かったです。これより浜村淳の認識度が大阪人のイメージに影響している事がわかりました。関西弁を話さない人に冷たい態度をとるというイメージの7～9割において浜村淳を知らない人よりも知っている人の方が12パーセントも高かったことも裏づけになると思います。この結果は角淳一に関しても同じことが言えました。角淳一の場合は10パーセント高かったです。また大阪人と信号のイメージと角淳一のクロス集計からも、角を知っている人のほうが7～9割の部分で26%高かったです。このことから角淳一と大阪人に対するイメージが関わっていることがわかりました。また、小薮に関しても7～9割の部分において知っている人の方が10%も高かったです。以上のことからこの三人が与える大阪人に対するイメージへの影響が多いにあることがわかりました。

5、まとめ

クロス集計をすることで目にみえてない情報がわかりました。有名人の認識度に

よって大阪人へのイメージが変わることに驚きました。大阪に住むことでそこで活躍している人物を知り、その人物から受ける影響が大阪人に対するイメージにも影響することが分かったように思えました。その人が土地に住むことで今まで知らなかった情報を得ることでその土地に対するイメージが変わり、その土地を中心に活躍する人を知ることによってイメージは変わるのだと感じました。また今回は大阪をテーマに取り上げましたが、他の地域においても、有名人の認識度、活躍によってイメージが変わってくるのかを調べたいと思いました。